

2026																									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
1月1日	木	Racine(根)																							
1月2日	金																								
1月3日	土	22時・Fleur (花)																							
1月4日	日													☺											
1月5日	月	19時・Feuille(葉)																							
1月6日	火	6時～Fruit(実)																							
1月7日	水																								
1月8日	木													21時～											
1月9日	金	Racine(根)												14時・Fruit(実)											
1月10日	土																								
1月11日	日													7時～Racine(根)											
1月12日	月													16時・Fleur (花)											
1月13日	火																								
1月14日	水	0時～Feuille(葉)												Fruit(実)											
1月15日	木																								
1月16日	金													18時・Fruit(実)											
1月17日	土																								
1月18日	日													5時～Racine(根)											
1月19日	月																								
1月20日	火													10時・Fleur (花)											
1月21日	水																								
1月22日	木													8時～Fleur (花)											
1月23日	金																								
1月24日	土																								
1月25日	日																								
1月26日	月	3時～Fruit(実)																							
1月27日	火													20時～											
1月28日	水	Racine(根)																							
1月29日	木																								
1月30日	金													Fleur (花)											
1月31日	土																								

満月19:03

新月4:52

ドイツ人 Ms. Maria Thunさんは、40年以上にわたる実験から、宇宙全体が作物と深い関係があることを実証してきました。それらの成果を農業に生かす為、毎年その農事暦を発行しています。弊社取扱いワイン生産者の多くが、その仏語版 *Calendrier des Semis Bio-Dynamique* (Maria et Matthias Thun)を参考にしています。

(ポイント) 2010年4月のフレデリック・コサル氏来日時の酒販店様向けセミナーにおいて、

Fruit(実) - - **Fleur(花)** の日時にバランスの良いワインは特に開き、美味しく飲める

(その中でもとりわけ新月から満月に向かうとき) という説明がありました。

(黄色)が花(光)、青色が葉(水)、ピンク色が実(熱)、紫色は根(土)の時間帯。白抜きの日時は花→葉、葉→実、実→根、根→花に移動する時間帯です。黒抜きの日時は、月、地球、惑星の特別な位置関係により、作物に否定的な作用を及ぼす日時に、ワインを飲むのには最も適さないそうです。

2026																								新月 7:09																							
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23																								新月 21:01																							
2月1日	日	Fleur (花)				6時～Feuille(葉)																17時～Fruit(実)																									
2月2日	月					☺																																									
2月3日	火																																														
2月4日	水																																														
2月5日	木					7時～Racine(根)																																									
2月6日	金																																														
2月7日	土																																														
2月8日	日																																														
2月9日	月	0時～Fleur (花)								12時～Feuille(葉)																																					
2月10日	火																																														
2月11日	水																																														
2月12日	木																																														
2月13日	金					2時～Fruit(実)																																									
2月14日	土																																														
2月15日	日									Racine(根)																																					
2月16日	月									18時～Fleur (花)																																					
2月17日	火					↔								○																																	
2月18日	水																																														
2月19日	木									14時～Feuille(葉)																																					
2月20日	金																																														
2月21日	土																																														
2月22日	日									8時～Fruit(実)																																					
2月23日	月																																														
2月24日	火	1時～Racine(根)																																													
2月25日	水																																														
2月26日	木									14時～Fleur (花)																																					
2月27日	金																																														
2月28日	土									14時～Feuille(葉)																																					
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24																								0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24																							

なお、フランス版では黒抜きの時間帯でも日本版カレンダーでは黒抜きではない部分がありますが、フランス版カレンダーに上記は従っております（時差は考慮しております）。弊社としても、同じワインでも飲むタイミングによって味わいに違いがある！という実感はしておりますが・・・カレンダーを参考に実験を重ねていきたいと思っております。

Calendrier des Semis 2025 Bio-Dynamique (d'après Maria et Matthias K. THUN)
Calendrier des Semis 2026 Bio-Dynamique (d'après Maria et Matthias K. THUN)
マリア・トゥーンの天体エネルギー栽培法 (マリア・トゥーン)
When wine tastes the best – A biodynamic calendar for wine drinkers.